

いま、再注目される文豪

島崎藤村 生誕 150 年

カタチを変えながら、変わらずに愛される

# 令和に甦る文豪・島崎藤村

## 縁の地・小諸でのいまの姿



### 文

豪・島崎藤村（1872～1943）の生誕から、今年で150年が経ちました。昨年

から（小説の映画化）や（各地での朗読劇開催）、（作詞した詩が、Vtuberによりリバイバル）など、その魅力が再注目されています。

### こ

の秋には、若者を中心に大きな人気を誇る文豪を題材としたPC・スマホゲームと小諸藤村記念館のタイアップも企画され、多くの方が藤村記念館や藤村ゆかりの地を訪れています。

### 小

諸には、少しずつカタチを変えながら、変わらず愛されつつける藤村の姿があります。

### 新たなカタチで注目される文豪・島崎藤村

昨年より、小諸の地では藤村の新たな魅力を生み出す企画や活動が行われています。

#### ①明治の詩が最新のコンテンツで甦る（昨年）

コロナ禍でも懐古園や小諸とのつながり、小諸の空気を感じていただけるよう、こもろ観光局が島崎藤村の詩を、現代の人気クリエイターと一緒に令和版の「初恋」として制作。Vtuber 戌亥とこさんが歌唱する「初恋」は、YouTubeで125万回再生を突破しています。



楽曲視聴はコチラ →



コラボを紹介した広報こもろ 2021年11月号を読みこもろ市外・県外から多くの方が来訪されました。

#### ②藤村作品を朗読と音楽で楽しむ（9月）

県内を巡ってきた舞台「藤村文学と出会う朗読と音楽のひととき」が、島崎藤村ゆかりの宿・中棚荘の別邸「はりこし亭」で開催。バイオリンとチェロの演奏をバックに、「千曲川のスケッチ」「十三日の祇園」などが披露され、藤村が紡いだ小諸の情景が甦りました。

#### ③特別企画展・特別タイアップ（10月～）

藤村初の長編小説『破戒』出版までの小諸時代に焦点をあて、支援を受けた神津猛との親交、『破戒』の浄書本や文机などを展示する企画展を開催。同時に、DMM GAMESが配信するゲーム『文豪とアルケミスト』と藤村記念館が限定グッズでタイアップ！（詳細左記）



# 担当者に聞きました!

## 藤村と小諸のつながり

質問ー島崎藤村と小諸には、どんなつながりがある?

小山田ー藤村は、恩師である木村熊二が開設した小諸義塾に、国語と英語の教師として招かれたことで小諸にやってきました。その後、6年間にわたり小諸で教師をする傍ら、『千曲川のスケッチ』など様々な作品を執筆していました。

現在でも市内には、藤村ゆかりの地・施設などが多く残っており、その足跡を辿りにたくさんの方が訪れています。藤村記念館では、義塾時代の教え子や親交のあった方々からご提供いただいた書簡や遺品などを主に展示し、小諸時代の藤村の様子



藤村ゆかりの地 (こもろ観光局 HP)

## 新たな世代にも

質問ー昨今、若い世代にも注目されている?

小山田ーもともと、藤村記念館を訪れてくださるのは、学生時代にその作品に触れた方々が多かったのですが、最近では10代・20代の方々が、様々な新しいコンテンツをきっかけに

られることもあり、今回のタイアップのように、藤村との出会いや入口は皆さん様々ですが、記念館に来られると、展示をみながら、藤村の生活の様子を見て楽しんでくださいます。

## 普遍的なテーマがある

質問ー藤村の魅力は、どんなところ?

小山田ー個人的には、藤村の作品のなかでも読みやすい『千曲川のスケッチ』が好きです。私が小諸出身だからかもしれませんが(笑)。

藤村作品には「家族」「家」「出会い・別れ」といった、いま生きている私たちにどっぴも変わらない身近なテーマが溢れています。多くの地を転々とした藤村は、知らない土地や新しい環境での、もの悲しさや悩みを率直に記しています。その姿が、私たちに自分を重ね合わせ、共感を生んでいるのではないのでしょうか。



『文豪とアルケミスト』とは…

DMM GAMESにて好評配信中の文豪転生シミュレーションゲーム。登録者数は現在までに140万人を突破。キャラクターに史実の関係性を反映させ、現世に転生し再会したらどうなるのか、同じ時代に生きていながら会えなかった人達が実際に会ったらどんな関係を築くのかをコンセプトにゲームが作られている。

© 2016 EXNOA LLC



描きおろされた藤村のイラスト



藤村記念館 ☎ 0267-22-1130

- ▶開館時間 9:00 ~ 17:00 (12月~翌3月は、~ 16:30)
- ▶休館日 12月~3月中旬までの水曜日、年末年始

## “あなたと島崎藤村”のエピソードを募集します!

こもろ観光局では、「あなた(ご家族やお知り合い)と島崎藤村とのエピソード」を募集しています。「先祖と藤村が、こんな関わりがあった」「書簡のやりとりから、藤村は実はこんな人だったらしい」「藤村作品のおかげで、こんなことがあった」などといった、皆様がお持ちの逸話をお寄せいただければ幸いです。

- ▶エピソードの募集期間 ~ 11/14(月)
- ▶エピソードの投稿方法

小諸藤村記念館(懐古園内)設置の専用投稿BOXまたは下記メールアドレスへ、氏名・連絡先・年齢・性別と合わせてご投稿ください。

### ▶エピソードの利用方法

ご投稿いただいた内容は、こもろ観光局が主催する「島崎藤村生誕150年記念ウォーキングガイドツアー」にて参加者の皆様へ披露、また「広報こもろ12月号」にて紹介させていただくことがあります。※氏名・連絡先などの個人情報は、公表いたしません。

ツアー詳細



☎ (一社) こもろ観光局

☎ 22-1234 ✉ info@komoro-tour.jp